

CMMの本質が理解でき
改善マインドが芽生える
『セルフアセスメント手法』
のご紹介

ソニー (株) NACS SSA室

Network Application & Content Service Sector
Human Resource Solution Div.
System Software Assurance Dept.

森田 祥男

Yoshio.Morita@jp.sony.com



CMMが職場で進まない理由は何でしょうか？

時間が無い

人手不足

CMMの本質が
職場の方々に
理解されていない

推進メンバーが
やってくれるんでしょ

いくらトップがやれといっても



CMMの本質とは？

TR 25 プロジェクト計画 活動4

上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。

ある部では、この様に実装しようと考えた

プロジェクト計画書は、部長の事前レビューを受けた後、正式版とする。

しかしその実態は

部長は、ずっと前に、トップに約束してしまうことが常であった。

メンバーから不満が噴出していた。
まじめにCMMに従って精度良く見積りしても、無意味になってしまう

本 質

納期・仕様・コストといった重要な約束事は、コミットする前にPJメンバーと十分にレビューする。
決してエイヤで即回答 (KKD) してはならない。
しかも、手順の文書化まで要求しているのは、レビューのバラツキが大きいことを懸念しているからであろう

本質を踏まえた理想像

重要なコミットをする前には、必ずメンバーとレビューする。
万が一レビューが出来ない場合はコミットしないか、一旦持ち帰る、後で変更できる様、条件をつけてくることをルール化し、マネージャー全員に周知する。

CMMの本質とは？

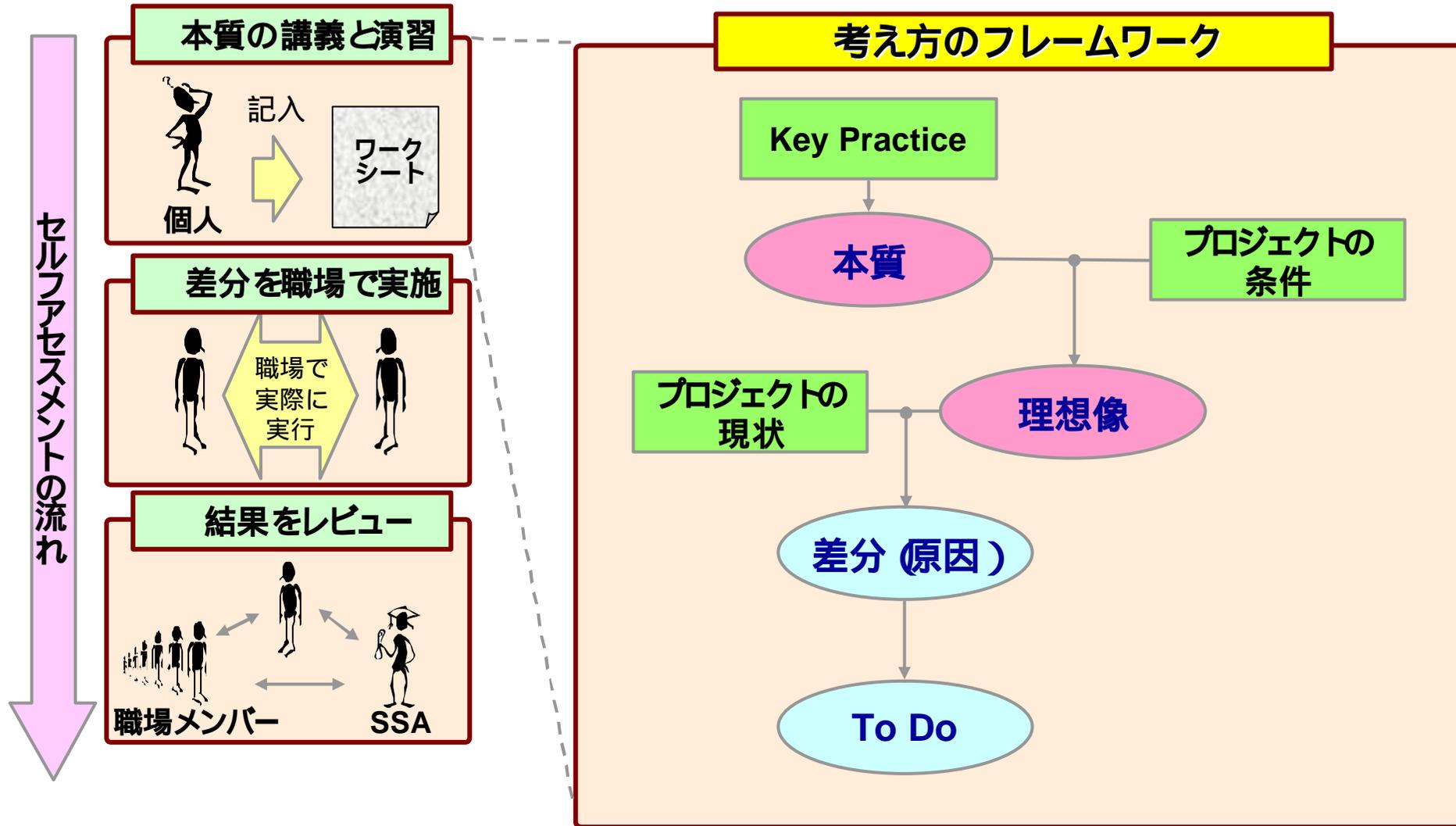
PJ (業務) の可視化



CMMはコミュニケーションツールである



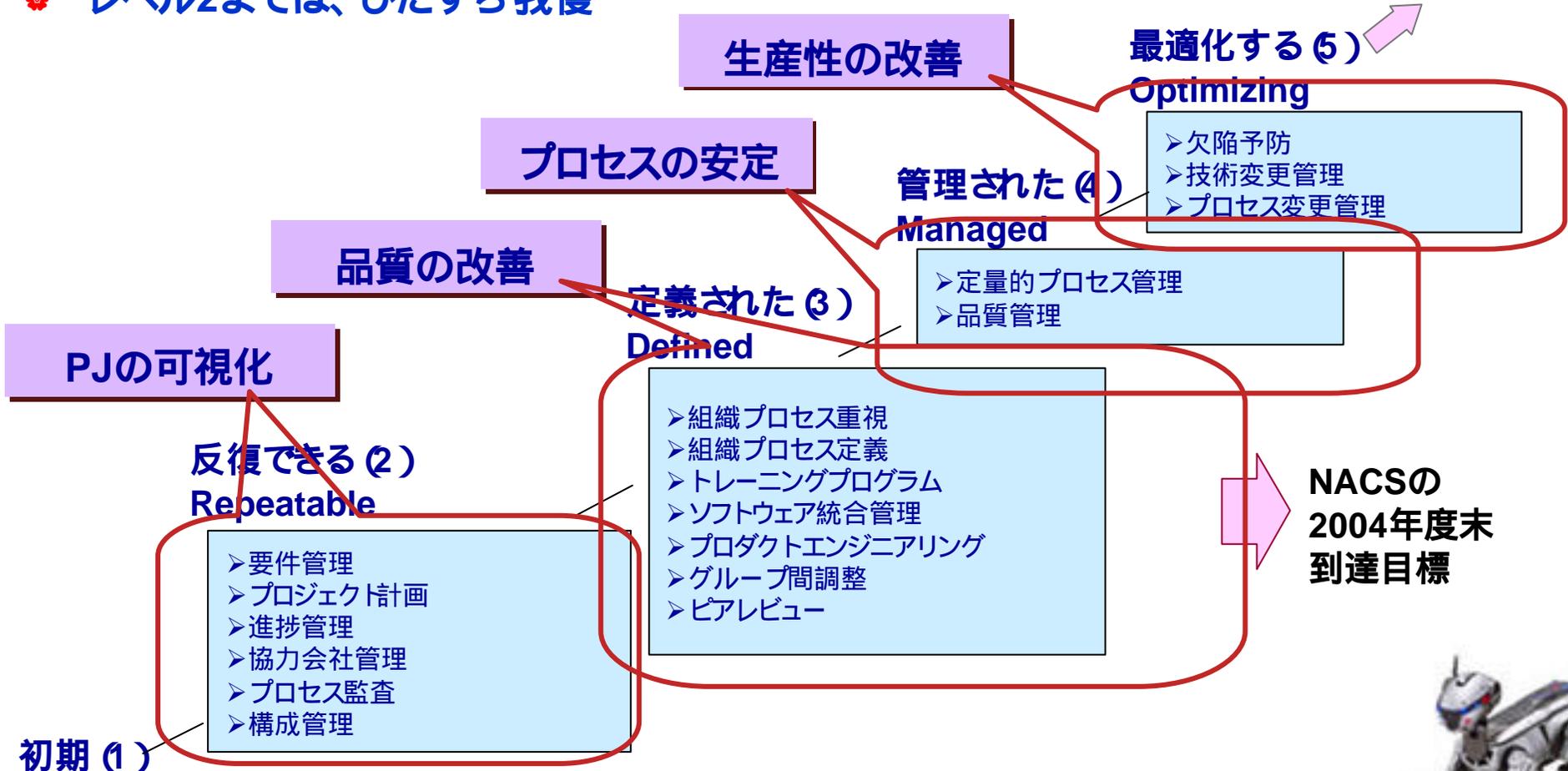
CMMの本質を理解する為の セルフアセスメント手法とは？



レベル2 までは我慢して下さい

- 🌸 レベル3 あたりから、本当の意味での改善 面白くなる！
- 🌸 レベル2までは、ひたすら我慢

Time to Market
Customer Delight

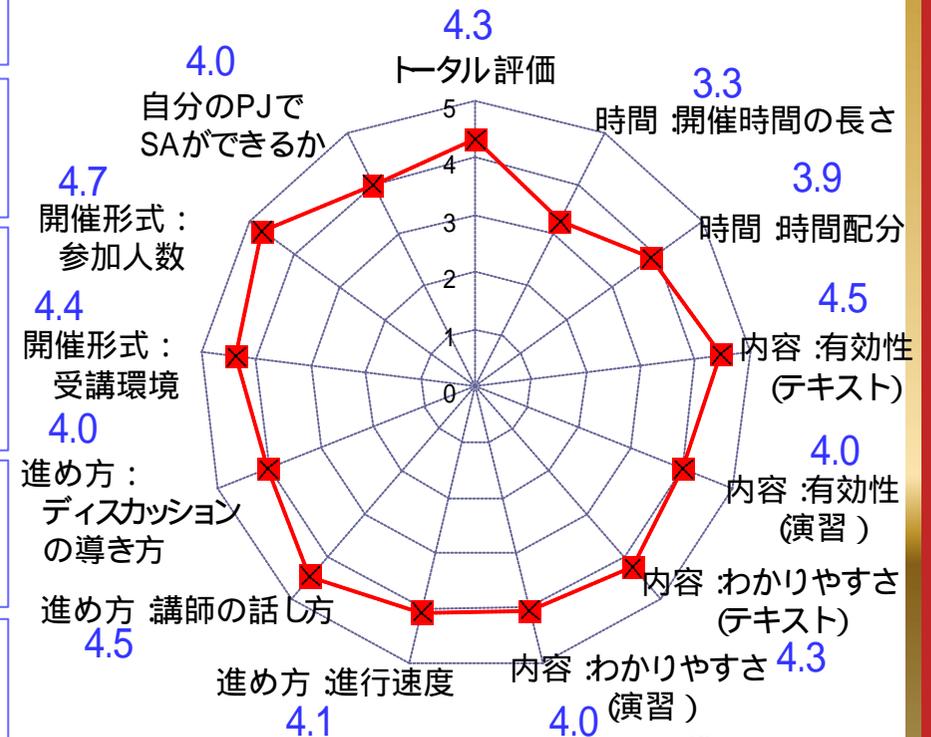


初期 (1)
Initial



セルフアセスメント研修 受講者の声

<p>トータル評価</p>	<p>はじめてCMMの本質がみえるトレーニングでした。 とてもよい復習になった。理解度を深めることができました。 演習をやると、KPの意味が見えてきた。 1日でML2の全KPを復習でき、理解が一層深まった。</p>
<p>時間</p>	<p>設定時間に対して内容が濃いように思います。 × 1日10Hの研修は少々きつかった。 × 2日に分けて実施した方が良かったと思います。</p>
<p>有効性 判り易さ</p>	<p>CMM ManualはTR25より具体的で可視化でき非常によい。 ソニーの実情が考慮されていて分かりやすかった。 演習では、講義の理解を深めることができました。 × テキスト資料の図がbusyに感じられました。 × 演習の時間が足りなかった。(記入時間)</p>
<p>進め方</p>	<p>講師の話と進め方は、とても良かったと思います。 環境はGoodです。人数も10人くらいでよかった。 × 少し説明が早い部分があった。</p>
<p>セルフ アセス 実施 可能</p>	<p>最初は時間がかかるが、SAをやる必要性をさらに感じた。 セルフアセスメントの方法も同時に理解できました。 セルフアセスはできると思います。やる気(意思)と時間だけ。 × 具体例や、部門内で利用できるテンプレート類が欲しい。 × アセスメント結果の事例や実際の質問の例が欲しい。</p>



受講者全12回 88名のアンケート結果
(2003年4月～6月)

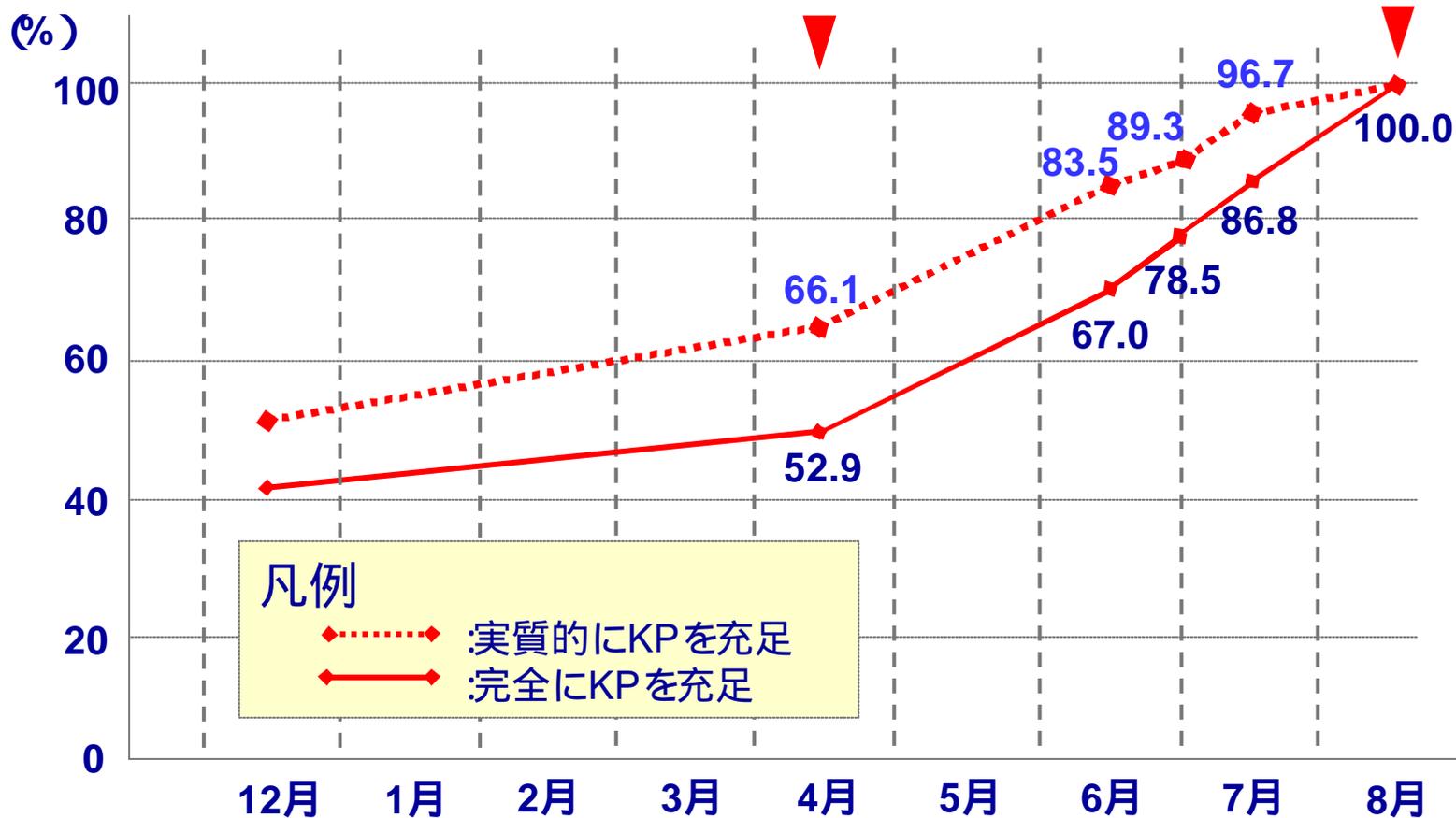


セルフアセスメントが現場の魂に火をつけた

レベル2KP充足率

SA (セルフアセスメント)

レベル2 達成
レベル3 も10/17達成



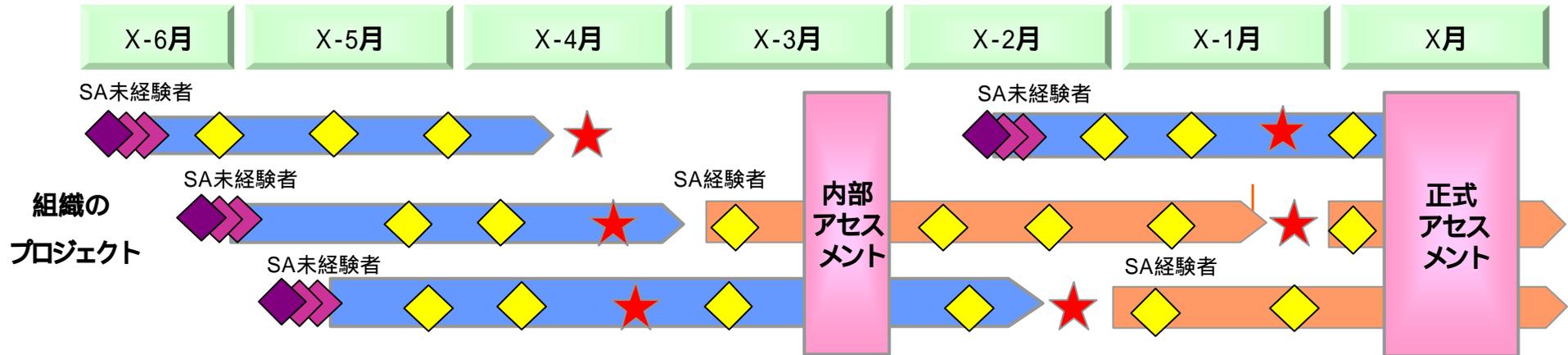
凡例

- ◆.....◆ : 実質的にKPを充足
- ◆——◆ : 完全にKPを充足



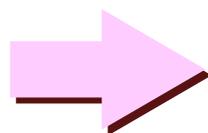
レベル2は6ヶ月あれば、十分達成可能

- ❁ セルフアセスメント(SA)を一度経験して、自分のPJに適用すれば、1人前のPLです。
- ❁ 課長以下、全員がやる気になれば、6ヶ月でレベル2は十分達成可能です。

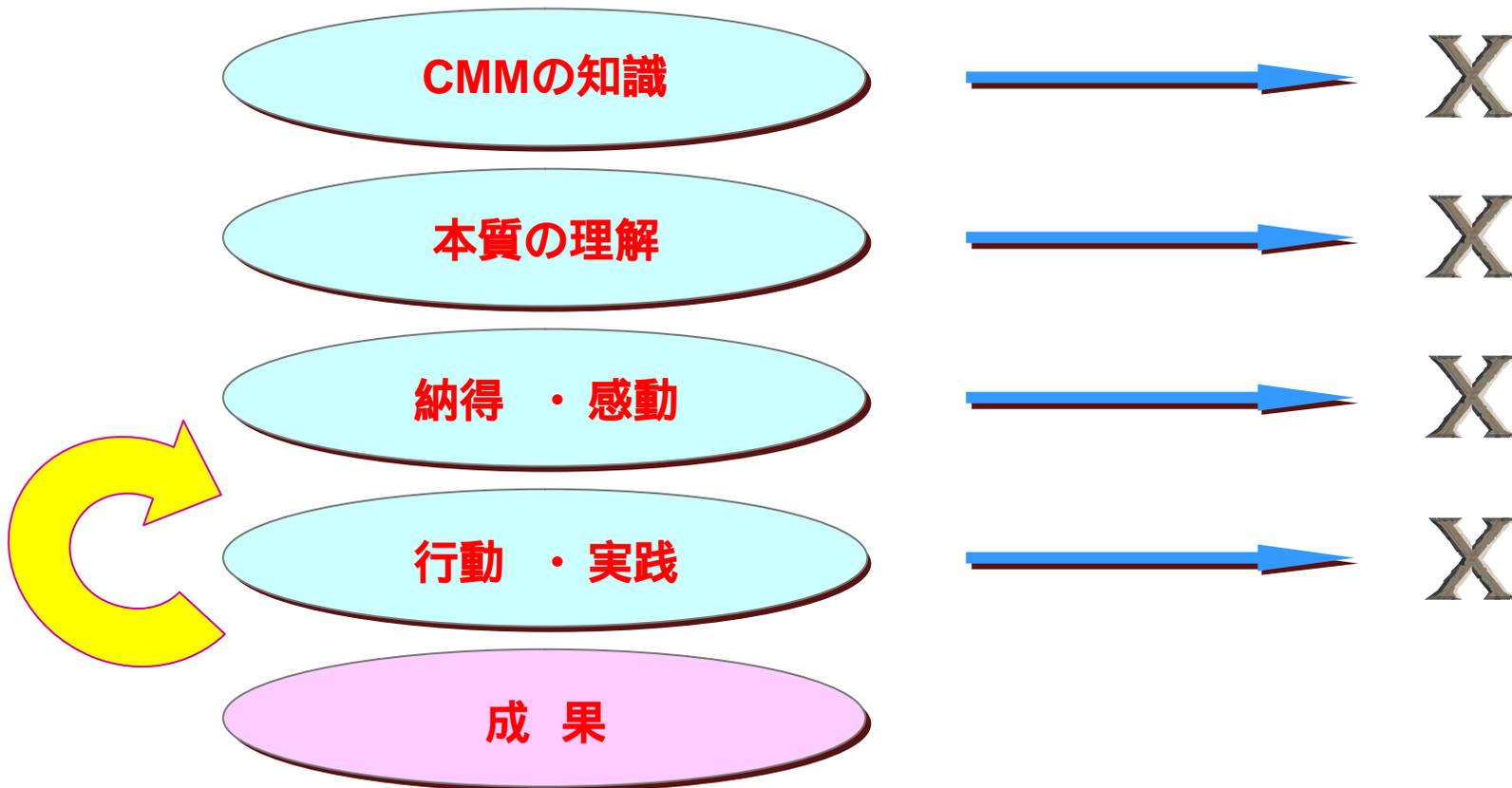


名称	目的	精度	期間	主体者	必要参加者
セルフアセスメント	プロジェクトの改善箇所をプロジェクト自身で考え洗い出すこと		半日~1日 / プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> PL SQA 	<ul style="list-style-type: none"> SSA、SEPG プロジェクトメンバ
SQA	通常のSQA活動		2H~半日 / プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> SQA 	<ul style="list-style-type: none"> SEPG、SSA (必要時)
ミニアセスメント (option)	プロジェクト外の目でプロセス監査の妥当性を検証する		1日~2日 / プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> SEPG 	<ul style="list-style-type: none"> SSA (必要時)
内部アセスメント (option)	SSAの目で正式アセスメントを受けるかどうかの判断を行う		2週間 / 組織	<ul style="list-style-type: none"> SSA 	<ul style="list-style-type: none"> SEPG
正式アセスメント	正式なソフトウェア開発の成熟度の判定を行う		3週間 / 組織	<ul style="list-style-type: none"> SSA 	<ul style="list-style-type: none"> SE認定アセッサー SSA、SEPG

まとめ



セルフアセスメントはかなり有効である



ご清聴 ありがとうございました。これよりご質問をお受けします。

